

調布市 洪水・内水ハザードマップ

Chofu City Flood and Inland Water Hazard Map

保存版
令和5年3月
洪水(外水)による水害リスクを軽減し、内水(内水)による水害リスクを示した内水ハザードマップを作成しました。

風水害の被害を最小限にするためには、日頃からお住まいの地域の水害リスクを確認のうえ、日頃の備えや災害時の危険箇所、避難場所について正確な情報を知ることが何より大切です。災害時は普段からの備えが重要となります。本マップを活用いただき、いざという時にあわてず行動できるよう、事前の準備をお願いします。

ハザードマップの使い方

- 1 自宅周辺の水害等のリスクを知る**
2面のハザードマップの見方を参考に、地図面で自宅周辺の水害等のリスクを確認しましょう。
- 2 いつ・どんな行動をとるか考える**
3面のフローチャートを使って避難場所や避難するタイミングを確認しましょう。また、自宅で行える風水害対策(5面)、情報の入手方法(6面)を確認しておきましょう。7・8面では、気象情報や避難行動のタイミングや、情報の入手手段のタイミングについて、警戒レベルごとの(とるべき)行動が確認できます。
- 3 ハザードマップで確認した内容をもとに、風水害時のタイムラインを作成する**
4面を使って自分だけのマイ・タイムライン(避難行動計画)を作成してみましょう。

使用上の注意
雨の降り方は複雑であるため、想定とは異なる浸水深となり、浸水が想定されていない区域でも浸水が発生する場合があります。

編者・発行 調布市 総務部 総合防災安全課
TEL 042-481-7346(直通) FAX 042-481-7255
令和5年3月 制作・印刷 内外印刷株式会社
発行部番号 2022-146

1 自宅周辺の水害等のリスクを知る

ハザードマップの見方

土砂災害のリスクを確認するには

土砂災害警戒区域
土砂災害警戒区域(ハザードマップ)
土砂災害の恐れがある区域
土砂災害特別警戒区域

急傾斜地崩壊危険箇所
急傾斜地崩壊危険箇所
崩壊するおそれのある急傾斜地でその崩壊により危害が生ずる恐れのあるもの、およびこれに隣接する区域

避難所
主に市内の小中学校を避難所として指定しています。風水害時と避難所が異なる場合がありますのでご注意ください。

凡例
ハザードマップ内の防災施設等は色で確認できます。

水害のリスクを確認するには

浸水ランク
河川の氾濫等により浸水が想定される浸水ランク(深さ)を示しています。風水害時に避難行動を考える目安となります。

氾濫流
堤防沿いの地域等で洪水時に車道が浸水するよう激しい氾濫流が発生するおそれがある区域

河岸侵食
氾濫による河岸の浸食を予想し、家屋の崩壊や流出などの危険がある区域

家屋倒壊等氾濫想定区域

2 いつ・どんな行動をとるか考える

避難場所の検討

洪水・内水ハザードマップで自宅がある場所に色が塗られていますか?

はい → いいえ →

はい → いいえ →

以下のどちらかの条件にあてはまりますか?
① 自宅が「土砂災害警戒区域」や「急傾斜地崩壊危険箇所」, 「家屋倒壊等氾濫区域」に該当する
② 自宅の居室で浸水深より高い場所に部屋がない

はい → いいえ →

以下の条件にあてはまりますか?
① 自宅が「土砂災害警戒区域」や「急傾斜地崩壊危険箇所」, 「家屋倒壊等氾濫区域」に該当する

避難場所を考えましょう
避難する場所は多くの選択肢を持っておきましょう
避難所の生活は、多くの避難者が集まり快適とはいえ、普段の生活と大きく異なる環境で過ごすことになるストレスも予想されます。また、避難所が開設する暇なく避難情報が発令されることがあります。日頃から複数の避難場所を検討しておきましょう。

在宅避難
ハザードマップで色がついていても、自宅が安全が確保できる場合は、避難所に行く必要はありません。自宅を数日過ごせるよう、食料品や生活用品を備蓄し、道路の側溝や雨水ますの掃除をして備えましょう。

ペットの避難について
市内の避難所では、ペットの受け入れを行います。避難所では、ペットは所定のペットスペースで、キャリー・ケージ等に入れ飼育することになります。ペット同行避難の際は、キャリー・ケージ、ペットの食料、トイレ用品などを携行しましょう。また、避難場所について、親戚・知人への避難、ペットホテルやかかりつけの動物病院の一時的な利用も検討しましょう。

垂直避難
洪水が発生し、逃げ遅れに備えて、2階以上の階へ避難し、上層階に避難し、上層階の上層階など、少しでも安全な場所に避難しましょう。

避難所へ避難
事前に非常用持出袋を用意しておき、避難所へ避難しましょう。
※避難所の開設状況や避難状況はHP等から確認できます。

避難所以外への避難
浸水や土砂災害の恐れのない安全な場所にある親戚・友人宅、ホテルや旅館などへの避難も検討しましょう。

避難するタイミング

避難に時間がかかる方(高齢者・妊産婦・乳幼児・ペット等)がいますか?

はい → いいえ →

警戒レベル3(高齢者等避難)
危険な場所から高齢者等は避難

警戒レベル4(避難指示)
危険な場所から全員避難
※必要に応じて早めの避難も考えましょう。

※警戒レベルの発令は、調布市防災・安全情報メールや市HP等から確認できます。

3 ハザードマップで確認した内容をもとに、風水害時のマイ・タイムラインを作成する

我が家のマイ・タイムライン

ハザードマップで自宅周辺の水害等のリスクを確認し、記入とチェックをしましょう。

→ 地図面で、自宅周辺の水害等のリスクを確認し、記入とチェックをしましょう。

洪水浸水想定・予想 m
内水浸水想定
土砂災害警戒区域
急傾斜地崩壊危険箇所
家屋倒壊等氾濫想定区域

はい いいえ
あり なし
内 外

いつ・どこに避難するのか検討しましょう

→ 3面のフローチャートを参考に、避難場所と避難するタイミングを検討しましょう

私の避難場所は いますか? 例: 警報レベル3 高齢者等避難以上が発令されたとき

です

事前の備えはできていますか? チェック 台風や大雨に備えて事前にチェックをしておきましょう

Q 避難に時間がかかる方(高齢者、妊産婦、ペットがいる等)がいますか? 備蓄品、非常用持出袋の準備はできていますか?

はい いいえ
→ レベル3(高齢者等避難)での早めの避難の心がけましょう。 普段から、家族や親戚、友人と連絡をとって、避難時の避難場所について相談してありますか?

Q ペットはいますか? はい いいえ
→ ケージや、食料、トイレシートなどのペット用品の準備をしましょう。 気象情報・避難情報の入手方法は確認していますか?

ハザードマップで確認した内容をもとに、風水害時のマイ・タイムラインを作成しましょう

警戒レベル	我が家の避難行動
1	(例) 気象情報・ハザードマップを確認 <input type="checkbox"/> 備蓄品、非常用持出袋を確認しておく <input type="checkbox"/> (例) おいちゃん・おばあちゃんに状況確認の連絡をする <input type="checkbox"/> 携帯を充電しておく <input type="checkbox"/>
2	(例) 気象情報・ハザードマップを再確認 <input type="checkbox"/> 鉄道やバスの運行情報を確認する <input type="checkbox"/> (例) 浸水想定区域外の親戚の家に避難する <input type="checkbox"/>
3	(例) 車を避難させる <input type="checkbox"/> 避難の前にブレーカーを落とす・ガスの元栓をしめる <input type="checkbox"/>
4	(例) 避難を開始する <input type="checkbox"/> 避難所に着いたら、親戚に連絡する <input type="checkbox"/>
5	(例) 避難完了 <input type="checkbox"/> 避難が間に合わなかった場合は2階に上がる <input type="checkbox"/>

緊急安全確保

2 いつ・どんな行動をとるか考える

自宅で行える風水害対策

発災前に行える備え

自宅で行える
土のうや排水ポンプの準備
いざというときにあわてないために、事前に土のうや水の準備をしましょう。半地下構造の自宅では排水ポンプを準備しておきましょう。

側溝・雨水ますの清掃
雨水ますの取出口が落ち葉やごみで詰まると道路冠水の原因になります。普段から雨水ますの清掃にご協力ください。

携帯トイレの備蓄
災害時には、トイレが使えなくなる可能性があります。携帯トイレや簡易トイレを備蓄しておきましょう。

家庭での備蓄(在宅避難に備えて)
ライフラインの停止に備え、数日分の食料(火や水を使わずに食べられるもの)・水の備蓄品を準備しておきましょう。

非常用持出袋の用意
懐中電灯・携帯ラジオなどを非常用持出袋(リュック等)に入れ、玄関等の持ち出しやすい場所へ用意しておきましょう。

地域で協力
普段から地域での助け合い活動をしなすよう
地域の一人暮らしの高齢者や身体の不自由な方などには普段から気配りをしましょう。

地域の避難訓練に参加しましょう
地域の避難訓練に参加するほか、ハザードマップに対する理解を深め、地域防災に関する意識を向上させましょう。

台風・大雨 当日に行える備え

自宅で行える
家屋の浸水防止対策
洗濯機やお風呂場の排水口やトイレなど思わぬところから下水が逆流することがあります。排水口やトイレを水のうでふさぎましょう。

地域で協力
避難の際にはご近所に一声かけましょう
避難するときは、2人以上で行動し、近所の人に声をかけましょう。あなたの一声で避難を決断できる人がいます。

2 いつ・どんな行動をとるか考える

情報の入手方法

各種コンテンツは二次元コードから登録できます。

スマートフォンやPCなどを利用して多くの情報を集めたい

調布市防災・安全情報メール
気象情報や市が発令する避難情報・避難所開設情報などが入手できます。
登録方法: 登録用Eメールアドレス c.bousai@chofu.jp に空メールを送信していただき、自動返信されるEメールから登録ください。または、右記二次元コードを「バーコードリーダー」で読み込んで登録ください。

東京都防災アプリ
東京都公式の防災アプリです。マイエリアに登録した区市町村の気象情報・避難情報の自動配信など、防災に役立つ情報が入手できます。

調布市公式Twitter / 調布市公式LINE
災害関連情報のほか、イベントなどの情報をお知らせしています。
Twitter: chofu_shi
LINE: chofuchiky

調布FM (83.8MHz)
台風情報・緊急時の情報収集には、調布エフエム放送83.8MHzをご活用ください。
●パソコン Simul Radio(サイマルラジオ)がアクセス
●スマートフォン Listen Radio(リスナーラジオ)が利用

ケーブテレビ J.COM(地デジ11ch)
災害時には、番組画面に災害情報が表示されます。dボタンを押すと地域情報を確認できます。

防災フリーダイヤル ☎ 0800-8000-903
防災行政無線で放送した内容が聞こえづらい場合は、防災フリーダイヤルで確認できます。
防災ダイヤル 042-426-4511
避難所開設状況や要配慮者等避難バスの運行情報などが確認できます。

キキクル・河川ポータルサイト
キキクルは、気象庁が運用する大雨による災害発生危険度をリアルタイムで確認できるサービスです。数時間先の災害発生危険度を予測することができます。
調布市防災河川情報ポータルサイト
市内の河川情報を確認することができます。各河川の観測地点のリアルタイムの推移状況や、定点カメラでの様子を確認できます。

2 いつ・どんな行動をとるか考える

警戒レベル	気象情報・避難情報等	河川情報
1	気象庁が発表 早期注意情報	水防待機水位 多摩川 4.00m 野川 - 仙川 - 入間川 -
2	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意水位 多摩川 4.30m 野川 2.20m 仙川 1.56m 入間川 1.21m
3	大雨警報 洪水警報	避難判断水位 多摩川 4.30m 野川 - 仙川 - 入間川 -
4	土砂災害警戒情報	氾濫危険水位 多摩川 4.90m 野川 3.53m 仙川 2.73m 入間川 2.11m
5	大雨特別警報	氾濫の発生 多摩川 - 野川 4.41m 仙川 3.90m 入間川 3.02m

↑警戒レベル4までに必ず避難↑

緊急安全確保

2 いつ・どんな行動をとるか考える

とるべき避難行動

災害への心構えを高める
●キキクル等で今後の気象情報を確認
●ハザードマップを確認
●避難場所・経路を確認
●マイ・タイムラインを確認
●非常用持出袋を準備
●携帯電話を充電
●家族の今後の予定を確認

自らの避難行動を確認
●最新の気象・交通情報を確認
●ハザードマップを再確認
●避難場所・経路を再確認
●マイ・タイムラインを再確認
●地域住民同士での声掛け
●河川ポータルサイトで川の水位を確認

危険な場所から高齢者等は避難
●高齢者等避難に時間がかかる方は避難所に避難を開始
●避難所開設状況を市のホームページで確認
●土砂災害警戒区域や河川近くにお住まいの方は避難を開始
●河川ポータルサイトで川の水位を確認

危険な場所から全員避難
●安全な場所へ避難を開始
●避難先までの移動が危険な場合は、自宅のより安全な浸水が及ばない場所に移動

命の危険 直ちに安全確保!
●命を守るための最善の行動を取る
●身の安全を確保するため、ただし屋内の上層階など少しでも安全な場所に避難

避難移動時の服装・持ち物

移動時の服装
水が入ると動きにくい長靴は危険です。履き慣れたスニーカーなど、動きやすい服装を着けてください。

非常用持出袋の準備を
いつ始まるかわからない避難生活に備え、非常時に持ち出すべきものをあらかじめ準備しておきましょう。

避難手段の考え方
避難は徒歩が原則です
車で避難すると、渋滞や道路の冠水により車両が動けなくなるため危険です。また、緊急車両の通行の妨げになり、救助が遅れてしまう場合があります。

●要配慮者専用の駐車場
原則、避難所に駐車場はありませんが、一部の避難所では要配慮者専用の駐車場を用意しています。早めの時間帯に避難し利用してください。

●車両自体も避難を
早めの時間帯の避難に限り、一部の駐車場を利用できます。台数に限りがあるため、民間駐車場の利用もご検討ください。

●要配慮者等避難バスの運行
市では、多摩川が氾濫した場合に浸水が想定される区域で、市内の各拠点から避難所へ向かう要配慮者専用のバスを運行します。
※同伴者は1人まで。状況により運行しない場合もあるため、必ず運行状況を下記二次元コードの市HPから防災ダイヤル☎426-4511で要確認